



風のつばさレポート

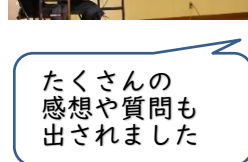
昨年度に引き続き、中学部と高等部の全員が参加する、作業学習成果報告会「風のつばさレポート」が2月2日(木)に行われました。これは、中学部と高等部の作業学習の取組を生徒同士が伝え合い、学び合うことを目的として行っています。

自分たちが日々取り組んでいる作業学習での活動や作業学習製品について、事前に各学部にて全作業班の製品を展示し、感想や質問をアンケート用紙に書いて提出してもらいました。当日は、各作業班からの成果の発表の後に、それを基に質疑応答を行いました。「ぼくならこうしたい」「私はこうすればいいと思います」などと活発な意見が飛び出し、他の作業班の学習活動へ関心をもついい機会となりました。

今回の報告会を通して、お互いの作業班の活動に対して「すごいな」という気持ちをもつことができたことが収穫でした。



作業学習の取組を堂々と発表する代表者たち



たくさんの感想や質問も出されました



製品の作り方を説明する中学部クラフト班の生徒たち



今年度の作業学習製品が勢ぞろい

高等部卒業後の支援について

中学部3年生、高等部3年生の皆様、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

4月からは、今までの学校生活からそれぞれの進路先へと生活環境が変わります。自分で選んだ進路先なので、それぞれの場所で、大きな花を咲かせてください。高等部3年生の皆さんは社会人1年生として、楽しみに思うこと、不安に思うことが、たくさんあると思います。うまくいくことはばかりだといのですが、つまづいて、困ってしまうこともあるかもしれません。

本校では、高等部を卒業してから3年間にわたって卒業後の支援「追指導(ついしどう)」をしています。方法は、進路先に訪問又は電話をして事業所の方や本人から様子を伺ったり、必要に応じて保護者の方からお話を伺ったりしています。いずれの場合も、旧担任や進路担当等が連絡をしています。時期は、原則として4月、夏休み、冬休みの年3回(2年目以降は夏休み、冬休みの年2回となります)を予定していますが、必要に応じて随時行っています。その他にも、学校では、卒業生が集まる同窓会「みんなげんき会」を年数回実施して、レクリエーションを楽しみながらいろいろなお話を聞いています。

支援に当たっては、進路先や相談支援事業所、秋田障害者職業センターや障害者就業・生活支援センターなどの支援機関と協力しています。何か悩みや課題があった時は、本人の承諾を得てから進路先や支援機関ともその情報を共有させていただき、支援していきます。学校からの訪問、連絡があった際には、いろいろ話を聞かせてください。社会人としてがんばっている皆さんに会えることを楽しみにしています。

学校生活でも、卒業しても、みなさんのことを応援しています!



進さんと路子さん